

3 埋立ての現況

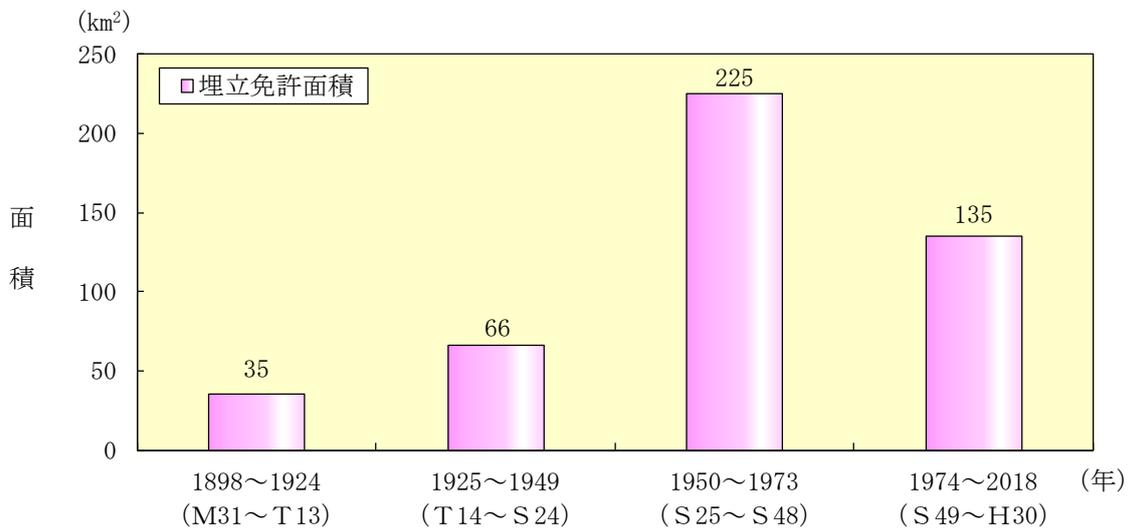
3.1 瀬戸内海の埋立免許面積

瀬戸内海では明治31年から大正13年までに約35km²が、大正14年から昭和24年までに約66km²が埋立免許された。昭和25年から昭和48年にかけては、重化学工業の集積等による沿岸域の埋立てが盛んになり、その間の埋立面積は約225km²に達した。明治31年から平成30年までの埋立免許面積の合計は表3-1に示すように461km²である。これら瀬戸内海の埋立免許の推移を図3-1に示す。

瀬戸内海における50ha以上の埋立てを図3-2に、大阪湾奥部における埋立状況を図3-3に示す。

表3-1 瀬戸内海の埋立免許面積

	期 間	面積 (km ²)	年数 (年)	平均 (km ² /年)
埋 立 免 許 面 積	1898 (M31) ~1924 (T13)	35	27	1.3
	1925 (T14) ~1949 (S24)	66	25	2.6
	1950 (S25) ~1973 (S48)	225	24	9.4
	1974 (S49) ~2018 (H30)	135	45	3.0
	1898 (M31) ~2018 (H30) 累計	461	121	3.8
瀬戸内海の全体面積	23,203 km ²			
埋立免許面積/全体面積	2.0 %			



出典：「瀬戸内海要覧」（建設省中国地方建設局）、環境省調べ

図3-1 瀬戸内海の埋立免許面積の推移